

おマチカネ



支部長あいさつ

学校体育研究同志会 大阪支部 支部長 佐々木盛文

第35回学校体育研究同志会大阪支部大会(豊中大会)にご参加いただき、ありがとうございます。毎年、この支部大会は夏休みのはじめ、7月後半に行っていましたが、コロナの影響で11月に開催することになりました。

学校行事など自粛をせざるを得ない状況の中、学校体育同志会大阪支部としても、活動の自粛、例会の実施、大会の実施など多くの議論を重ねてきました。本大会も実施に至るまで現地、実行委員ではたくさんの議論を行ってきました。もちろん、大阪支部のメンバー内でも多くの意見を出しながら実行委員と連携してきました。実行委員の「特別」な思いが刻み込まれている大会です。

「できるだけ参加しやすい分科会構成にして学びの輪を広げる」こと今大会開催のねらいの一つです。例年は、二日間におわり各分科会の議論をふかめようという考えで運営してきました。それはこの大会を大阪支部一年間の研究のまとめとして位置付けてきたからです。分科会構成を一日ごとに区切り、参加したみなさんに様々な内容、教材について学んでほしいという願いからこのような大会を企画・運営することになりました。

体育同志会の大会では、参加しているみなさんが「主体的」に学び合います。参加されたみなさんには発言する権利があります。だれか偉い人が教えてくれるわけではありません。もちろん、ベテランが経験を語ることもあります。すべてが正しいとはかぎりません。疑問に思ったことは口に出してください。そして議論をしましょう。それが参加されたみなさんが主人公になるということです。

最後に、これまで大会準備をしていただいた豊能三島ブロックの実行委員のみなさん、大会会場を快く貸してくださった小曾根小学校の校長先生はじめ職員のみなさん、ありがとうございます。二日間、より有意義な大会になるように、みんなで学び合います。



歓迎 第35回学校体育研究同志会大阪支部大会(豊中大会) 大会実行委員長: 竹内 進

大会に参加して頂いた皆様方、本当に有難う御座います。皆様へのご挨拶は大阪支部佐々木支部長にお譲りし、私の駄文は、ここに至るまでの過程を振り返ってみたいと思います。少しお付き合いください。

この間を一言で言い表すと「いやあ～長かった」という言葉につきまします。もう少し掘り下げると「いやあ～ぼんぼんにやれたんですね」という思いがこみ上げます。この間の変遷をドキュメンタリータッチでお送りします。まずは今年度のブロック総会でブロック長より「来年度の支部大会はうちのブロックが担当になります」とこれは想定内「実行委員長は竹内さんで」とこれはお決まりの挨拶だけやれかねと即決。わけだ内心一抹の不安が一昔から竹内に行くところ事件ありと伝説を私の周りに人たちが、まことやかに囁き合っているのを感じて居るからです。大丈夫か? 「会場は? 小曾根小学校にお願いしたいと思えます」 「多分大丈夫だと思えます」 「一流石です。日頃の活動が評価して頂いているので有難いですね。」

「日程は? 例年通り全国大会が8月1週目の土日月なので、7月最終週の土日に」と一かし。2020は東京五輪の年。山の日・海の日をスライズさせて土日と合わせて連休になるかも? という噂が出始めていた。「それなら、逆手にとって山の日・海の日を連休に設定しましょう」とこれはなかなかの妙案だと思いました。「豊中が会場なので、近場の江坂近辺にはホテルも多いし、20名ほどの宿泊者を想定しても、すぐ確保できそうですね。一推もそう思いました。が、ネット予約サイトでは全く見つからない。あれ? と謎だ。後日業者と相談。東京五輪の影響で、東京では確保しきれないことを想定して、大阪のホテルも探してみようとの情報。海外から来ると関西の観光もセッティングで考える。新幹線代としてもいろいろあるらしい。でもなんとか確保できてる。ちょっとした事件でした。その後、大会のコンセプト、一日完結型分科会の決定。記念講演を神谷先生(関西大学)にお願いし、分科会とのセットで運動会にとことん拘るなどの企画も決まりました。

そして、会場への挨拶も終わって年度末に近づいた頃、突如起こった新型コロナ感染症の事件。得も知れぬ恐怖と不安はあったが、それでもまだ他人事だったかもしれない。全国一斉休校くらいからそれぞれわかれた。そして、あれよあれよという間に様々な自粛が始まりました。私事ながらこのころ職場が変わり、そこでは祭日休暇確保のため平日思っていたと分かったんです。となると実行委員長不在の大会に? これも事件の予感か? その後、「延期・中止も検討?」となったんです。一とこかくホテルはキャンセルということも、業者にも問い合わせずどちらの業界ともなにもいじりません。これは不謹慎な考えですが、戦争が起ったと思うくらいと腹くくりますとの話が出来ました。

そして、春になっても一向に好転しない中、五輪は延期が決定。同志会の活動もリポートになりました。「なんかしっくりこないなあ」と思ってたものが、何回も重ねていくとあれ? これもなかなかいいかも? と思いつきました。特に企画は、こちらがいろいろ、これも働き方改革ですね。しかし、一黨に会って集まることの大切さも今まで以上に感じています。だからこそ、中止ではなく延期にこだわって開会できるための策を議論してきました。その延期も1年後も開会をよりましたが、「大阪支部結成50周年の来年度の支部大会は大阪支部結成の地北河内です!」を大切にすることにし、11月開催というイレギュラーな日程に、「ごめいわれい」事件です。私の行くところ事件が起るけど(笑)最後はリピーターなんです。そう記します。皆さんの、この大会参加が素敵な時間になりますよう。私たちは精一杯歓迎し審査します!

学校体育研究同志会大阪支部大会 第35回支部大会(豊能・三島大会速報)

おマチカネ

No. 7

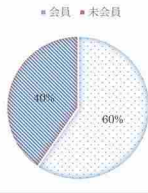


今大会の参加者のデータです

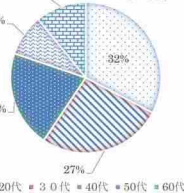
まずは
参加者申し込み者数
1044人(11/20AM6:54段階)

若い世代への大きな手応え

会員・未会員



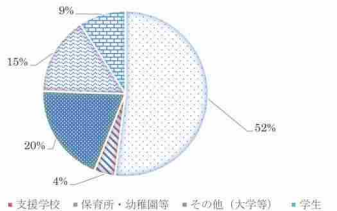
年代別



若い! 若い!

20代	33
30代	28
40代	22
50代	10
60代	11

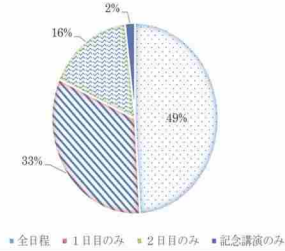
所属別



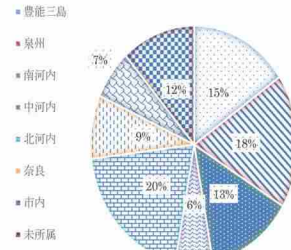
若い! 若い!

学生さんの大量参加は心強い

参加形態



所属ブロック



枚方の保育関係者沢山の参加

	未会員
豊能三島	16
泉州	19
南河内	14
中河内	6
北河内	21
奈良	9
市内	7
未所属	12

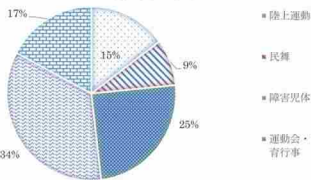
おマチカネ

No. 8



今大会の参加者のデーターです
参加形態と分科会参加希望者のデーターです
104人(11/20AM6:57段階)

1 日目分科会希望



陸上運動	12
民舞	7
障害児体育	20
運動会・体育行事	28
授業作り①(マット・ボール手)	14

凄い!



今大会の目玉企画の一つ
記念講演から分科会へ!
大反響でした!
障害児体育の参加希望者の数も含め
現場での重要性が問われているのです

7. 陸上運動	日名大悟	柏原市立堅下小学校
	安原 航利	八尾市立若尾小学校
	梅山 和也	岸和田市立若尾小学校
	藤原 亮美	岸和田市立若尾小学校
	小西真由	岸和田市立若尾小学校
	松宮公二	泉州ブロック、元小学校教員
	黒崎雅雄	枚方市立若尾小学校
	大塚まゆ子	枚方市立若尾小学校
	山崎川穂子	豊中市立若尾小学校
	伊藤健	大阪大学
	渡辺英樹	岸和田市立若尾小学校
	増田樹紀	岸和田市立若尾小学校

4. 民舞	宮本千絵	岸和田市立若尾小学校
	大西知夏	枚方市立若尾小学校
	森 麻子	枚方市立若尾小学校
	前田雅章	相愛大学
	志村 美菜子	東大阪若尾小学校
	市川英華	枚方市立若尾小学校
	坂東玲希	おおぞら保育園 おおぞら児童保育園

ウ. 障害児体育

窪田哲平	東大阪市立布施小学校
奥 正行	大阪府立堺支援学校大手前分校
芝田 雅彦	岸和田市立山滝小学校
辻内俊哉	大阪府立泉南支援学校
井上みなみ	ボツボ第二保育園
高田晃二郎	ボツボ第二保育園
上野山小百合	関西大学非常勤講師
瀬見秀夫	ぼぼろスクエア
北門 淳子	奈良県立高等養護学校
西尾和可奈	下田小学校
田原千恵	枚方市立保育所
堀川穂子	枚方市立香里園地保育所
宇野 照代	枚方市立枚方保育所
浅岡武裕	泉佐野市立佐野台小学校
池谷知寿	桜丘北保育所
藤本至樹	枚方市立桜丘北保育所
高橋雅司	関西大学
石野 友也	摂津市立鳥飼西小学校
鈴木裕子	奈良県立高等養護学校
高橋きよみ	奈良県立高等養護学校

エ. 運動会・体育行事

田中宏樹	兵庫教育大学大学院
安原一雄	枚方市立西山田小学校
出水正太郎	幼年 堺市おおぞら保育園
中村俊介	枚方市立津田南小学校
川瀬 和美	和光鶴川小学校
中村清二	大東文化大学
菅 耕史	枚方市立小倉小学校
池田優生	摂津市立味重小学校
奥田純菜	兵庫県洲本市立洲本第三小学校
小山紗知	神戸大学附属特別支援学校
組賢二	南あわじ市立神代小学校
藤原 秀英	千早赤阪村立赤阪小学校
中野泰秀	大和郡山田市立片桐西小学校
兼信 勇太	枚方市立小倉小学校
吹野慎治	松原市立松原小学校
田中翔太	和光大学
吉川知宏	大阪府立三津屋小学校
品川舞子	和光大学
福嶋 佐利	豊能町立 吉川小学校
山本敦子	大阪府立東小橋小学校
吉澤 潤	東京都目黒区立東山小学校
堀江 なつ子	山梨英和中学高校
林祐太	関西大学
中山 弘之	愛知教育大学
玉藤和典	明治学院大学
中林真理子	大阪府立南市岡小学校
中林真理子	大阪府立南市岡小学校
片本宏茂	小学校
古川崇治	奈良市立右京小学校
佐々木 健文	河内長野市立千代田小学校
西岡 遥	大阪府立豊仁小学校
白山承郁	関西大学
佐々木真紀子	なし
牧野満	豊中市立下田小学校
大瀬 雅 篤	高槻市立南大冠小学校
定永 桃	関西大学人間健康学部
岡本愛夕奈	関西大学 人間健康学部
高口真一	河内長野市立加賀田小学校
伊豆野夏実	堺市立若尾小学校
大塚 宗	藤原川市立東小橋小学校
遠藤風紗	大阪府立北田辺小学校
小倉至樹	和光大学

オ. 授業作り①(マット・ボール手)

西岡 遥	大阪府立豊仁小学校
白山承郁	関西大学
佐々木真紀子	なし
牧野満	豊中市立下田小学校
大瀬 雅 篤	高槻市立南大冠小学校
定永 桃	関西大学人間健康学部
岡本愛夕奈	関西大学 人間健康学部
高口真一	河内長野市立加賀田小学校
伊豆野夏実	堺市立若尾小学校
大塚 宗	藤原川市立東小橋小学校
遠藤風紗	大阪府立北田辺小学校
小倉至樹	和光大学

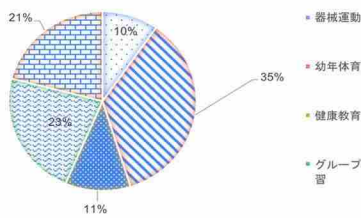
おマチカネ

No. 9



今大会の参加者のデーターです
参加形態と分科会参加希望者のデーターです
104人(11/20AM6:57段階)

2 日目分科会希望



凄い!

枚方の公立園の先生方の高い
学習要求の応えなければ
いけませんね。
幼年体育プロの皆さん頑張ってください。

カ. 器械運動	日名大悟	柏原市立堅下小学校
	志村 美菜子	東大阪若尾小学校
	梅原 健	関西大学
	石野 友也	摂津市立鳥飼西小学校
	池田優生	摂津市立味重小学校
	吉澤 潤	東京都目黒区立東山小学校

キ. 幼年体育	宮本千絵	岸和田市立若尾小学校
	坂東玲希	おおぞら保育園 おおぞら児童保育園
	奥 正行	大阪府立堺支援学校大手前分校
	辻内俊哉	大阪府立泉南支援学校
	井上みなみ	ボツボ第二保育園
	高田晃二郎	ボツボ第二保育園
	西尾和可奈	下田小学校
	田原千恵	枚方市立保育所
	堀川穂子	枚方市立香里園地保育所
	宇野 照代	枚方市立枚方保育所
	出水正太郎	幼年 堺市おおぞら保育園
	鈴木優花	おひさま園野保育園
	中野泰秀	香里園地保育所
	木田実花	枚方市立香里園地保育所
	尾崎まゆえ	尾崎まゆえ
	堀田穂子	大阪成蹊短期大学
	藤嶋 咲利	枚方市役所
	日下 陸矢	おおぞら保育園
	前田雅章	相愛大学
	谷村穂子	枚方市
	伊達久美	枚方市立桜丘北保育所
	藤原 由佳	枚方市立若尾保育所
	古川真明	岸和田市立山北小学校

ク. 健康教育

佐々木 盛文	河内長野市立千代田小学校
安武一雄	吹田市立西山田小学校
上野山小百合	関西大学非常勤講師
佐々木真紀子	なし
森 麻子	枚方市立東香里小学校
前田雅章	相愛大学
藤沢 岳矢	千早赤阪村立赤阪小学校
田中宏樹	兵庫教育大学大学院
西岡 遥	大阪府立豊仁小学校
中村俊介	枚方市立津田南小学校
白山承郁	関西大学
渡瀬 克美	岸和田市立東光小学校
川瀬 和美	和光鶴川小学校
中村清二	大東文化大学
近藤ひづる	日本福祉大学 愛知支部
渡辺英樹	岸和田市立東光小学校
山本敦子	大阪府立東小橋小学校
森 基	泉佐野市教育委員会学校教課課(北中小学校)
増田樹紀	岸和田市立八木小学校
片本宏茂	小学校
古川崇治	奈良市立右京小学校
芝田 雅彦	岸和田市立山滝小学校
梅山 和也	岸和田市立旭小学校
牧野満	香芝市立下田小学校
芝田 雅彦	岸和田市立山滝小学校
松宮公二	泉州ブロック、元小学校教員
糸川川祐子	豊中市立東豊台小学校
長谷川千代	奈良県香芝市立下田小学校
大瀬 雅 篤	高槻市立南大冠小学校
定永 桃	関西大学人間健康学部
岡本愛夕奈	関西大学 人間健康学部
堀田敦子	尾張旭市立本地原小学校
中林真理子	大阪府立南市岡小学校

ケ. グループ学習

中村俊介	枚方市立津田南小学校
白山承郁	関西大学
渡瀬 克美	岸和田市立東光小学校
川瀬 和美	和光鶴川小学校
中村清二	大東文化大学
近藤ひづる	日本福祉大学 愛知支部
渡辺英樹	岸和田市立東光小学校
山本敦子	大阪府立東小橋小学校
森 基	泉佐野市教育委員会学校教課課(北中小学校)
増田樹紀	岸和田市立八木小学校
片本宏茂	小学校
古川崇治	奈良市立右京小学校
芝田 雅彦	岸和田市立山滝小学校
梅山 和也	岸和田市立旭小学校
牧野満	香芝市立下田小学校
芝田 雅彦	岸和田市立山滝小学校
松宮公二	泉州ブロック、元小学校教員
糸川川祐子	豊中市立東豊台小学校
長谷川千代	奈良県香芝市立下田小学校
大瀬 雅 篤	高槻市立南大冠小学校
定永 桃	関西大学人間健康学部
岡本愛夕奈	関西大学 人間健康学部
堀田敦子	尾張旭市立本地原小学校
中林真理子	大阪府立南市岡小学校

コ. 授業作りII(サッカー・水泳)

西岡 遥	大阪府立豊仁小学校
白山承郁	関西大学
佐々木真紀子	なし
牧野満	豊中市立下田小学校
大瀬 雅 篤	高槻市立南大冠小学校
定永 桃	関西大学人間健康学部
岡本愛夕奈	関西大学 人間健康学部
高口真一	河内長野市立加賀田小学校
伊豆野夏実	堺市立若尾小学校
大塚 宗	藤原川市立東小橋小学校
遠藤風紗	大阪府立北田辺小学校
小倉至樹	和光大学

コロナ対策 実行委員会を中心に学校体育研究同志会が万全で臨みます。
皆さんもご協力下さい。

おマチカネ

No. 10



運動会・体育行事



初日の分科会の様子です

障害児体育分科会

風船パレーの実践報告をし、子どもたちに設定していたルールについて考えることができました。ルールを絶対的なものにするのではなく「このルールがあることで、こんないいことがある」ということを考えるきっかけになるといいと思います。そのルールもその都度変えていくことが大切なものも学ぶことができました。

(東大阪市立上小阪小学校)

(沖村寛斗)



初めて支援学級の話聞かせてもらい、すごく勉強になりました。弱さを持っている子ども全ての子どもが楽しめる軸にされていて、共感の部分と、改めてこのことは大切なことだなと思いました。色々な教材も紹介してもらい、保育の中でもすぐいかにしていきたいです。

(ポッポ第2保育園)

(井上みなみ)

子どもたちの純粋な要求やエネルギーに大人が動かされたというところが、ここでの実践をやりきることになったのだと思います。

自治とは、ひとつには、子どもに意思決定をゆだねることというも、すつきりました。来年できることから、自分たちの小学校でもとどろくみたいと思います。

(枚方 小倉小学校)

(管 耕史)

今日もありがとうございました。一回だけじゃ分りかたかったことも二回目さくど分かったりすることも多かったので、再び聞いて本当に良かったです。子どもの意思決定を子どもに委ねるのは、すごく難しいなと思いました。そこには職員が、そういう思いをもたず、教師がたんと決めて、楽しようにしているから…

次は卒業式を創って下さい！！ありがとうございました。

(枚方市立津田南小学校) (中村俊介)

コロナ禍の学校でも充実した学びが今までよりも難しい中で「くまろ祭」を通して、子どもたちが自分たちで考え、自分たちで創るという、非常に良い学びができていますと感じました。

また、その中で、子どもたちの「自分たちでやる」という言葉聞き、教師がどこまで手を差し伸べればいいのか、ということも教員全体で共通の理解を持つことが大切になるのだと感じました。

「くまろ祭」を通して、運動会の範囲をこえた学びができて感じました。今日の実践を参考にして、運動会はもちろん、他の行事、学習へも活かしていきたいと思いました。

(大和大学)

(田中翔太)



みんなが参加できて、みんなが楽しめる」という目標に向かって実践されていて、それが達成できていて、目標にだわって大切だと確認できました。我が校も1年〜6年まで参加している特活の時間があるので、ピッタリの活動だ！と思い、ぜひ実践したいです。たくさん教材を教えてください、ありがとうございます。

(北河内ブロック)

(城尾 博子)



おマチカネ

No. 12



記念講演

運動会で自治を育てるということは、耳で聞くことがあったが、そのことでテーマ、プログラム、競技まで一本貫くというこの意識は薄かったように感じる。この取り組みをする中で意識したいが学校全体で考えたと意識し、難い面もあるように思う。できることから考えたい。

(岸和田東光小) (渡辺英樹)

実技参加には自信が無く、今回は講演会のみ参加です。以前から、何度か同志会には参加させて頂いてます。退職後自分のやってきた体育について、まとめてきたいと思い、大学院に通い論文を書くにあたって「佐々木賢太郎」先生について書かれた石田先生を知り、再び同志会に参加させて頂いたことと思いました。今、論文をきっかけに再び体育の講師として勤めています。今回の会にも本場に沢山の若い先生方が体育を研究し頑張っておられることが嬉しく勇気もらいました。体育行事については、今興味を持っていて、卒業後少し研究を進めています。コロナの対策で上からおろされたことを疑うこともなく、やるしかないという雰囲気益々現場では強くなっている気がして不安でなりません。子どもが自分の生活課題を自分自身で知り、その願いをしっかりと受け止める教育が必要だと思います。

(堀岡 裕子)



一緒に組んでいる学年や、職員の協力が不可欠であるけれど、色々な働きかけの中で、子どもたちの自主性から自分たちの行事「自分たちが作る」と思えるように持って行けるというなあと感じました。今年のコロナの状況で、自分の学校は、個走のみだったため、こういう考え方をできるとよかったです。

(枚方市立牧野小学校)

(大阪さおり)

同志会は何のためにあるのか？と考えることがなく、例年行っているから今年もしよう。というただ行事として位置づけていた事を恥ずかしいと思った。それこそ話にあったように団結や一生懸命など表面しか見られていなかったと思う。「子どもとテーマを決めて、それに向けて内容を考える」こんな運動会ができれば教師も児童もやりがいを感じるだろうと思った。同志会でも聞く実行委員会で作る行事が大切になって来ることを実感した。教師からのトップダウンではなく、児童が主体的に動ける運動会ができれば素敵だと思う。そのサポートができるように考えたい。 (高石市立加茂小学校) (小西真由)

授業作り1 マット



「動物」を使ってマット運動が楽しくなる授業づくりだと思いました。準備運動であるねこちゃん体操をきちんとして、その成果をクマさん歩きやゾウさん跳び箱に発展させていくことがわかりました。マット運動は私もですが、苦手意識があり、楽しくないイメージです。このような動物を使ったり、言葉で表現したり、できる、できないで授業を進めていくのでなく、自分の良さを表現していくことが大切だと感じました。

(関西大学)

(岡本愛夕奈)

ねこちゃん体操、自分が小学校の時に体育でしていたのを思い出しました。あの頃は大好きで、家でもよくしていたのですが、大人になってみると想像以上のしんどさに驚きました。マット運動が苦手で、うさぎの足打ちとかも、怖いのですが、教はいつもより少し出来たように感じました。スモールステップすることによって、こわさが減ると実感できたので、来年から授業づくりをする際には、スモールステップを大切にしたいと思います。グループで活動するの、相手の確認と、自分がどうなっているかを考え直す時間にもなって、やってみようと思いました。

(大和大学)

(小倉 菜摘)

小倉さんお先に新入会の挨拶をした教女です。

ちなみに、小倉さんの通っていた小学校。その時の校長先生が差通先生。そして大学生になり校内クラスの学生となりました。来年からは大阪府の小学校の教員として、同志会の重宝の学校に勤めるのでしょうか？それならばいいのですが。



おま千カネ

No. 13



陸上分科会午後



今日はありがとうございました。初めての実践という事で反省点が…とおっしゃっていましたが、経験の少ない自分にとっては身近な目線の実践で、こういうところに気を付けたいと気づけたり、それからの改善点等も聞いて良かったです。また、「やってわかる」を子どもにもしてほしいように、自分も教える側として、「やってわかって」から、子どもたちに教えるのではまた違うと思うので、準備から実践まで実際にできてよかったです。本日はありがとうございました。

牧野小学校 大原 さおり



報告させてもらって感じたことは、やはり体験することは大事だと言うことです。口だけで説明するより実際に体験してもらえるとすごく参加者のみなさんも「なるほど」と思ってもらえるように思います。なので、この実践報告をきっかけに何か挑戦してもらえたらと思います。

矢木小学校 増田 樹記

すくきらいだったハードル走(陸上)が、少し好きになる実践でした。ふみ切り位置、自分の歩幅、リズム良く走る等、知識として得た上でハードルと跳ぶと、自分の課題や目標がはっきりとして、納得ができ、楽しかったです。「どの子にもチャンスがある！」タイムとしてはとても速いとはいえませんが、自分の目標を達成した時の嬉しさは、大人の私も感じました。「ハードルが好き！」という子が一人でも増えると感じて、実践に取り入れます。

高石市立加茂小学校 小西 真由



授業づくり

ポール運動(壬)



今日はありがとうございました。バスケット系の競技がすごく苦手なので、上手な子だよりの授業になりそうですが、コツを教えていただけたなあと思います。今日みたいに全員がボールを持って授業できることまでやった事ありませんが、どの子も自分なりに練習ができて、体育が楽しくなるなあと思いましたが、上手な人と自分をくらべて悲しくなる人も出そうなので、前の自分とくらべることを声かけしていかないかなと思います。シュートボール楽しかったので、やってみたいと思います。

豊中市立東豊台小学校 糸魚川 祐子

バスケットボールをやっていたこともあり、自分の頭の柔軟性のなさにつながりました。小学生を教えるにあたっては、その段階の子も違何ができるのか、どのような思考回路で物事を図っているかなどをまずは知ろうと思いました。(ボランティア等で)非常に分かりやすく、理がかなった授業を提供頂きありがとうございました。

関西大学人間健康学部



球技は、習っている子・経験者だけが楽しいイメージを持っていました。また、教員になってからは、体のつかい方をどう説明したらいいか悩んでいました。しかし、楽しみながら、自然に動き方を見つけてさせるはたけかけがあるのだと学んだので、いかしてきたいです。

また、こちらから説明するだけではなく、子どもたちから伝えたいポイントがでるようになるのが、いちばんいいと感じました。

大阪市立北田辺小 遠藤 凖紗

おま千カネ

No. 14



運動会・体育行事

障害児体育

ます、土佐さんの話がとても感動的でした。子どもへの願いを大切にすること忘れてはいけないです。奥さんの実践、学校(職場)に自由な活動を認める雰囲気があるという点も思います。卓球(バレー)も楽しかったです。ルールを作っていく、変えていくことなど、自由なところから、どんどん楽しくなるなあと思うました。自分の学校の支援学級にも紹介したいと思います。

(摂津 鳥飼西小)

(石西友也)



数年前、クラスに自閉症の子がいて丁寧について保育しているつもりでしたが、ほかの子もまたからすると「あの子だけ」と先生がついてくれるようになってしまい、その子への友だちの関わりが心地よくないものになってしまいました。私の保育へのものたりなさ、自分も認めて欲しい、見て欲しいという思いが弱さを持っている子へ向かってしまいました。そこで対等な関係を気づくこと、子どもたちの要求をしっかりとくまり保育することの大切さと考えさせられました。土佐先生のおっしゃっていた対等な関係づくり、とても大切な事だと身をもって体験したのですく心に落ちました。

(ポッポ第2保育園) (井上みなみ)

「スポーツ運動はそれをやる者が主人公」それぞれの障がいや特性に合わせてみだしていき 土佐先生のお人柄の起源を感じることができました。保育の中でも創造が想像力を最大限に発揮して子どもたちと過ごしたいと思えます。土佐先生「何でもいいんですけどね」の口ぐせの中に、こうあらねばならないと思わなくてよいということを感じました。たのしかったです。

(染川裕子)

「暑く運動したいという子どもたちの声を大型にして実践してもらったのを感じました。その子どもたちの気持ちを忘れず実践していくことができた。卓球は、ある程度が得意です。ありがとうございました。」

(北河内ブロック)

(堀尾 博子)



吉澤さんの講演は以前にも拝聴していたのですが、今年度の自分と彼との関係と、吉澤先生とT先生との関係を比較して改めて考えさせられました。で「創造的に仕事していくこと」先輩教師から僕が教わり、憧れ、挑んできたこと、それらがぼくらの仕事だと若い先生たちに分かちつたえあいたい。今年度も残り4ヶ月です。が、その若い先生に創造的な仕事の面白さを伝えられるようにしたいです。南河内B/赤坂小学校 藤沢岳矢

吉澤先生の実戦の中では「3年生年りの自治」について「自分たちで決める！自分たちで決める！」とあり、そこにすごく同意します！学年にも同じことを言っています。「子どもが主役になる」ということを忘れない。こどもたちあいの声を聞く。続けていきたいです。北河内ブロック、森麻子

教育課程の中で運動会を位置付けていくことの豊かさを学ばせてもらいました。同僚性も含めぬ実践と共通して素晴らしいなあと思いました。また、吉澤実践では「つくる」ことのおもしろさを理科、図工とも関連させているところが豊かですが、神谷講演の「意思の表明の場」になるためにはさらに願ひを込めるプロセスが必要なのかどうか考えました。たとえは悟空のその後を自分が悟空に込めたつもりで、考えたり、どんな悟空になりたいかなどを交流していく中で、子どもの生活、発達課題がみえるかも保護者も来る運動会でどんな物語を作りたいか、このあたりの仕掛けを吉澤さんではどう考えるのだろうか？聞いてみたい。東京 玉腰和典



おマチカネ

No. 15



昨日に引き続き、やっぱりキーワードになっていた「子どもの声を聴く」めっちゃ賞かれたテーマですね。幼年も、運動会も、民舞も。結局これがないと豊かなものは生まれない。

国民主権、基本的人権が、保障されない豊かな国はつくれませんね。学術会議あかんて!!

目の前の子どもたちが何におもしろさを感じるのか…。今バスケを6年生でやっていますが…。異質共同でやってみようと思ってチーム分けをみんなで作ったけど、ある女の子でまったくやらずで、「男子がイヤやねん。みられたくないねん。」とのこと。なので、何日か限定で女子だけメンバーでやってみたら、超イキキキゲーム…。どうしたものか…。わたしは何を教えたらいいんやろ……。どうしようか…。(2回目)という日々を送っています。

泉州・幼年 宮本ちえ



動物歩きのクマさんひとつとっても、人によって重心の位置や着手位置と肩の位置関係がだいぶちがうものだなーと感じました。肩がちよっと前に出るだけでも感覚は大きく変わってくると思うので、特に低のマット遊び(ねこちゃん体操でも)肩の位置は意識させると面白そうだなーと思いました。

東京支部 吉澤潤



実技を通して、スモールステップの学習をしていく重要性を学べました。現場では、得意な子や苦手な子が様々な状態での指導になるので、どちらの生徒も楽しめるような環境がすごく大事だと思います。そのため、スモールステップで行っていき、苦手な子でも徐々にできるようになる喜びというものを味わうことができ、得意な子は、どんどん新しいことに挑戦できるのと、とても良い授業作りだなと感じました。それに加えて、発問の中から生徒に気づかせるということも、これからの学習に必要だと改めて思いました。

関西大学 鳥居雅司

側転ができなかった自分ができるようになりました。器械運動に苦手意識をもっていた自分が、達成感を味わうことができ、今回の分科会に参加してよかったと思いました。指導のポイントやスモールステップに指導することの大切さに気づくことができました。

摂津市立味舌小学校 池田優生

身体づくりを目的として、リズム遊びや固定道具、おにごっこ、散歩、坂のぼりなどに過去取り組んできましたが、塩田先生の「運動そのものの楽しさを伝える大切で手段論としての取り組みではない。」と聞いて、ドキッとしました。子供に身に付けてほしい力として、たのしんで身に付けられるように考えていましたが、指導者の思いがつかよいときもあつたな、と振り返りました。実践報告を聞いて、子どもを中心として、たのしんで身に付けるってこういうことだ、と改めて見つめ直させてもらいました。実技では、身体で「たのしい」ってこういうことだと学びを自分自身に付けられるかな、と思います。

枚方市 唐崎 咲利



おマチカネ

No. 16



グループ学習

子どもの感想がすごい。実践者(授業者)が意図した目標に向かってしっかり学習できているし感想文に残していることがすごい。これまでのグループ学習の様子も知りたい。(泉佐野市) (森 基)



“子どもたちが出てくる動きや気付きから教えるなかみを考える”という目標ではあったけど、子どもから出てきた意見は、バレーボールで大切なことばかりであったように思います。友だちの気持ちや下手さを見捨てない姿勢が感想文にも沢山でていて、それは今まで山本先生と過ごしてきた中で育てきたものなんだろうなー、と思いました

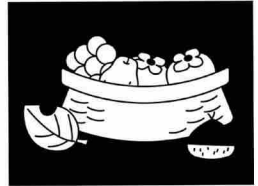
(北河内ブロック) (城尾博子)

一つ一つ丁寧に子どもに返したり読み込んでいるので、子どもたちはどんどんしたいとか発見があるのですごい実践だなーと思いました。子どもの声を拾ってつなげてやっていて、何でそんなことができるんだろう。

(北河内) (中村俊介)

健康教育

佐々木先生、どうもありがとうございました。実践報告を聞いて、先生が子供たちと日々懸命授業に取り組まれたことがよく伝わってきました。実践報告の大切さも再確認できました。私も2年生を担当したときに、子どもたちから「赤ちゃんってどうやってできるの？」と質問されたときに、どうやって教えたらいいのか悩んだ時があります。子供の知りたいことを子どもの発達段階に合わせて、紙芝居や映像を伝えて教えていくことが大事だと思います。わたしも実践してみたいと思います。兵庫支部 奥田 純菜



実践報告を聞きながら、子どもたちの変化や保護者の変化が伝わり、とても素晴らしいなあと感じました。私の立場で、保護者や子どもたちにどう関わり、どう支えていけるかなあ？と考えさせられます。

入門授業では、まさに今、自分の立っている給食の話になり、食をもって子どもたちを支えたい自分と、完食神話(?) (自分の中にも根付いてるな)との葛藤がありました。さあ、子どもたちをしっかり見て、自分に何が出来るか?

枚方市桜丘北保育所 吉村 理沙

「すいみん」「みんどこ」とも興味深い授業プランだと思いました。しかし、それ以上になぜこの実践をするのかという佐々木先生の子どもたちへの「願い」や「ねらい」がものすごくお話から伝わってきました。子の授業が結果として、子どもたちにとって楽しいわかる授業となつたのは、教材の良さに先生自身の目的意識が明確だったからだと思います。やはり授業は、目標が大事であると改めて考えさせられました。

泉州ブロック 古川 真司



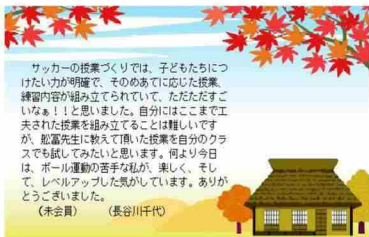
おマチカネ

最終回



今大会は、目標 80 名の大会として実行委員会を中心として大阪支部取り組んできました。

お陰様で、申込者数 **115 名** (自粛等で参加できなかった人は 10 名でした) ありがとうございます。



サッカーの授業づくりでは、子どもたちにつけたい力が明確で、そのめあてに応じた授業、練習内容が組み立てられていて、ただただすごいなぁ!! と思いました。自分にはここまで工夫された授業を組み立てることは難しいですが、松富先生に教えて頂いた授業を自分のクラスでも試してみたいと思います。何より今日は、ボール運動の苦手が私に、楽しく、そして、レベルアップした気がしています。ありがとうございます。(来会員) (長谷川千代)



サッカーはボール操作、運動経験に非常に格差が出るスポーツであるため、どのような授業作りを展開すれば良いのかと考えていました。そんな中、スポーツ経験のある子とない子が平等に分配されたチームを編成することで、互いに教え合ったはら、試合が五分五分になったりして面白くなると思いました。系統的な学習を通して、確実な技能を身に付けてもらえるよう、今後活かしていきます。ありがとうございます。

(関西大学人間健康学部) (定永桃)

サッカーは今一番習い事している子が多くて、その分、技術の差がすごく大きい競技だと思っています。その中で「コーチ会議」などを使って、子ども自身が仲間を上手に使ったり、練習させたりという形をとっていくと、上手な子の更なるスキルアップにもなるし、未経験の子も参加しやすかったり、自分の存在意義を認めやすくなるのかなと思いました。四人という小人数のチームも、攻めが全員ボールを持つというのも、みんなが必ずボールをさわるので、いいなぁと思います。ありがとうございます。

(豊中市立東豊台小学校) (糸魚川祐子)

この速報は皆さんに研究の内容を皆さんに、お伝えするよう頑張って参りました。最後の分科会の様子をまとめる時間は、残念ながらありません。しかし、支部研究部にお渡ししますので、大会の分析・継承・発展のために研究部にお渡しし活用させていただきます。有り難うございました。

この大会が無事に終わりを迎えます。皆さんの熱い思いと熱意に十分に答えられたいでしょうか? 毎年お世話になっている現地実行委員の皆さん方の、パトシリレーの役目を果たしたでしょうか? 開催すら危ぶまれたこの大会でしたが、来年度につなげるためにとの使命感で一杯でした。

そして、来年度の大会は北河内ブロックが主催されます。大阪支部結成50周年という記念すべき年に、同志会大阪支部結成誕生の地で行われるのです。

そんな記念すべき年に今大会で出会った一人でも多くの皆さん方に、是非ともお会いしたいと思っております。

実行委員会一同



大会総括報告書

豊能三島大会実行委員会

コロナは収まるどころか、何か得体が読めない不気味な足音とともに、日本中を席巻しています。そして心穏やかではありません。平凡とした日々はいつ戻ってくるのでしょうか? 一日も早くそんな生活が甦れることを切に望んでおります。

さて、このコロナ禍の中での今大会開催までには、紆余曲折と迷いもありました。しかし、十分な対策と論議を重ね、直前中止もあり得るとの判断の上強行した次第です。そのことで、多くの方々に迷いご心配をおかけしたのではないかと思っております。特に今回参加をお控えになられた皆様への判断を尊重いたしますし、もっと多くの方の不参加も想定しておりました。しかし、私たち実行委員会のメンバーは、ぎりぎりまで論議の余地を残しながら踏み切ることにしたので、結果的に 10 名の方が参加できなかったことを、大変心苦しく、申し訳ないと思いましたが残念でした。

そんな中でも、それでも、大会は 2 日にわたり行われ 105 名の方々の参加で元気を頂きました。本当に有り難かったです。今回の取り組みの継ぎを残すことで、今後の支部大会に役立てる部分があればと思っております。

実行委員会委員会一同

支部大会総括 (取り組み経過)

Q2019 年 9 月 14 日のブロック総会で「支部大会構想」について話す

役割分担を決め、

会場決定、宿泊所決定、後援の申請、当日の日程案、分科会案、基礎講座、

記念講演

実行委員会の日程等について意見交流

Q10 月 4 日ブロック委員会

日程・会場・宿泊 (仮予約) 決定

大会日程・分科会候補・参加費等一案

：この時点で「授業づくり」のテーマを「運動会」でやりた方計 (吉澤)

大会コンセプト 「みんながわかる支部大会」

- ・一日で完結する分科会 (実技も実践報告も一日で聞ける)
- ・報告者も他の分科会にも参加できる
- ・そのため、分科会を一日 (5 時間) ごとに違うものを用意する
- ・基礎講座はなしにするが、「授業づくり入門」分科会を用意する (①2 コマ②2 コマ)
- ・基礎報告は、同志会の体育の考え方を、実践例を引きながら分かりやすく簡潔にする
- ・記念講演は、一般参加者も興味深く聞け、体育実践に活かそうと思える内容で

O11 月 16 日ブロック別会 (ラグハンドボール実技) 例会前にブロック委員会支部幹任で出された「分科会の一掃」についての意見交流

- ・じっくり伝えるという面が薄くなる恐れあり⇒支部大会の位置づけの模索の一つとしてやってみる価値あり
- ・「基礎講座」がなくなるのは残念⇒「授業づくり入門」がそのかわり
- ・「基礎講座」に現地の思いを入れられていたが⇒「授業づくり入門」に記念講演と絡めた「運動会」を
- ・各分科会の「入門提案」をどうするか⇒事務局から原案を
- ・分科会の構成は? ⇒ブロックと研究部で相談、一日目二日目の配分も授業づくりの候補 (日程も踏まえて) 球技が分科会でないことも配慮
- 一日目 マット・運動会 二日目 球技 (手)・球技 (足)

O12 月 9 日ブロック委員会

- ・大会日程の微調整
- ・分科会の配分 (1 日目・2 日目、実技盛り込) の案
- ・大会テーマについて
- ・実行委員会ニュースについて (大会速報とも関連して)

タイトル・いつから発行・担当・内容等々

・予算案作成とかかわって：参加者予想と上納目標 (比較対象は全労連の 1.1 万円)

・「要項作成」及び「後援申請」とかかわって・・・2 月くらいまでを目途に (役割分担) 会場の確定及び後援申請・・・朝輝 (竹内)

記念講演者 (神谷さん) の確定・・・竹内

分科会責任者と報告者の確定、および実技の有無等・・・安武

基礎報告と提案集づくりに向けて・・・楠橋

予算案づくりに向けて・・・下村 (朝輝)

実行委員会ニュース等情宣活動・・・田中 (下村)

O2020 年 1 月 26 日ブロック委員会

- ・会場 (小曾根小) 確定 (1 月 24 日：朝輝さんと実行委員長で挨拶)
- ・記念講演者 (神谷) 確定
- ・ニュースタイトル「おマチカネ」に決定 1 号を 2 月支部ニュースに
- ・保育と子どもスポーツクラブについて話し始める
- ・予算案作成に向けて (上納費決定、弁当なし、熱中症対策)
- ・分科会の流れ (入門) はあり。ただし 30 分程度で簡潔に)

O3 月 1 日ブロック委員会

- ・申請用の要項作成して後援申請を出す
- ・おマチカネ 2 号を 4 月支部ニュースに
- ・分科会構成と担当者がほぼ決定
- ・提案集作成の段取りとスポンサー、保険関係

※その後、コロナ感染が広がりにブロック委員会も開かず、支部大会も不透明に。ただし、その間に府教委をはじめ各市町の後援が通る

活動ピラ

④消毒液・石けん液等の設置配置図及び受付でのコロナ対策のお願いポスター作成

⑦会場表示・会場案内表示等

⑧「おマチカネ」作成の手順と体制の確認（感想文・写真・配り等）

⑨開会式・閉会式のプログラム

○11月21日22日大会当日

○総括に向けて

11月中に各分担任による総括文（案）の作成

それを実行委員長（竹内）に送り、総括文作成

ライン等で確認の上、12月20日の常任委員会へ提出

- ・淡路の岨さんが「子どもと創る運動会」を実践中⇒支部大会で方向可能か？
- ・支部研究部員の「運動会アンケート」による例会を受けた報告も分科会分科会分科会か？
- ・変更後の要項を8月中に作る

○7月24日ブロック委員会（ズーム）

- ・中止の時の対応
- ・コロナ対策：可能な範囲で「コロナ対策」を考え、それを「要項」にも載せていく

○8月21日ブロック委員会（ズーム）

- ・中止の判断の基準（常任とも相談）と決定リミットを決める
- ・中止時の申込者への対応決定
- ・変更後の要項の作成と印刷枚数、配布計画（分担）
- ・宣伝と参加目標の決定（予算は62名で立て、80名参加を目指す）
- ・大会当日の実行委員の大まかな役割分担と大会までのタイムスケジュール
- ・物品購入は、11月まで待って行う
実行委員の負担は、20%以下に抑えたい（しんじり）
- ・コロナ対策の参加者へのアピール、大会後の総括の仕方について

・作業

会場（各教室・体育館・運動場・倉庫・印刷室等）の確認のあと

⑦分科会の準備物の確認と用意できるものは用意しておく

⑧歓迎号や周辺地図、分科会案内図等の作成

⑨開会式用横断幕

⑩袋詰め（提案集・歓迎号・周辺地図・入会のお勧め・感想文用紙・年間

09月25日ブロック総会（ズーム）

- ・おマチカネ3号の発行
- ・ブロック年間計画と支部大会
- ・中止時の対応の確認
- ・当日の実行委員の役割分担
- ・コロナ対策の具体化（いつどこで？検温、準備物
- ・各分科会の準備物の集約と会場との確認

○10月16日ブロック委員会（ズーム）

- ・進捗状況の確認
提案集の印刷をネットで頼む
必要物品を15日までに会場校へ届ける
- ・11月15日の会場校準備の内容確認とそれまでにやっておくこと
- ・大会当日の役割分担

○11月15日：会場校準備

- ・作業前打ち合わせ
実行委員の宿泊、交流会について（しない方向）
コロナ対策の参加者へのアピール、大会後の総括の仕方について
- ・作業
会場（各教室・体育館・運動場・倉庫・印刷室等）の確認のあと
分科会の準備物の確認と用意できるものは用意しておく
⑧歓迎号や周辺地図、分科会案内図等の作成
⑨開会式用横断幕
⑩袋詰め（提案集・歓迎号・周辺地図・入会のお勧め・感想文用紙・年間

現地・渉外

●今回、コロナ禍でも“結構余裕で学校を借りられ”ました。それはたまたま今

年度が校長も教頭も“ゆるい方”で“ラッキーな年だったから”という一言です。開催のお願いを休校中の4月に管理職へ相談すると「え！？いいんじゃない（管理職が断るといふ発想がなさそう）」、9月に再度延期のお願いをすると「大変やねえ」とあっさりOKを頂きました。しかし、同じ職場でも2年前の教頭だとも細かく、そうすると同じ校長でもビビリするし、こんなコロナ禍では絶対に無理だったと思います。

また、当日は私以外の本校の職員参加はゼロでした。ただ1週間前から教室をきれいにしてくれるなど、結構たくさんの先生快く協力してくれたので紹介します。

また、この大会の象徴的な分科会であったのが、「運動会分科会」であった。20名を超える分科会が成立したのも、各所属校でコロナ禍の中改めて運動会に少なからずともスポットがあたったことと、神谷氏の新年度記念講演や吉澤氏の新春講演などで、支部で運動会について考える機運が高まっていたことが合致した分科会であった。研究部も、アンケートなどをとり研究部員全員の意識が「運動会」にあったことも大きな要素となった。ただ、このことについては、この分科会で終わり出なく、課題を引き継いで、研究部を中心に今後も討議を行い、何から始めて、どのように運動会をかえていくのか」について、道筋をつくっておく必要があると感じた。

会計・物品

大会の日程が、11月の土曜・日曜開催となり、例年の夏休み開催よりは参加者が少なくなるのではないかと、というブロックの見立てがあった。また、支部大会上納金に加え、例年支部に収めている民舞教室分も上乗せして支部に上納することを目標にした。そのため、できるだけ支出を抑える工夫をブロックで相談しながら行った。その大きな工夫は、2つある。1つ目は、提案集をオンデマンド印刷にしたことだ。オンデマンド印刷にすることで、例年の半額ほどで経費で済んだ。2つ目は物品の工夫である。今年の大会はコロナ対応があった。非接触の体温計や消毒液、マスク、手洗い用の石鹸など必要物品は多岐に及んだ。朝輝さんの学校に協力していただいたり、竹内さんをはじめとするブロック員、支部の皆さんにも協力をいただき、新規に購入することをできるだけ控えた。たくさんの方の協力で、大きく支出を抑えることができた。また、参加者も予想を大きく上回り、収入も大きくなった。支部の会計も厳しい中なので、特別会計として支部に還元できればと、ブロックで相談を進めている。

活動ピラ

④消毒液・石けん液等の設置配置図及び受付でのコロナ対策のお願いポスター作成

⑦会場表示・会場案内表示等

⑧「おマチカネ」作成の手順と体制の確認（感想文・写真・配り等）

⑨開会式・閉会式のプログラム

○11月21日22日大会当日

○総括に向けて

11月中に各分担任による総括文（案）の作成

それを実行委員長（竹内）に送り、総括文作成

ライン等で確認の上、12月20日の常任委員会へ提出

- ・淡路の岨さんが「子どもと創る運動会」を実践中⇒支部大会で方向可能か？
- ・支部研究部員の「運動会アンケート」による例会を受けた報告も分科会分科会分科会か？
- ・変更後の要項を8月中に作る

○7月24日ブロック委員会（ズーム）

- ・中止の時の対応
- ・コロナ対策：可能な範囲で「コロナ対策」を考え、それを「要項」にも載せていく

○8月21日ブロック委員会（ズーム）

- ・中止の判断の基準（常任とも相談）と決定リミットを決める
- ・中止時の申込者への対応決定
- ・変更後の要項の作成と印刷枚数、配布計画（分担）
- ・宣伝と参加目標の決定（予算は62名で立て、80名参加を目指す）
- ・大会当日の実行委員の大まかな役割分担と大会までのタイムスケジュール
- ・物品購入は、11月まで待って行う
実行委員の負担は、20%以下に抑えたい（しんじり）
- ・コロナ対策の参加者へのアピール、大会後の総括の仕方について

・作業

会場（各教室・体育館・運動場・倉庫・印刷室等）の確認のあと

⑦分科会の準備物の確認と用意できるものは用意しておく

⑧歓迎号や周辺地図、分科会案内図等の作成

⑨開会式用横断幕

⑩袋詰め（提案集・歓迎号・周辺地図・入会のお勧め・感想文用紙・年間

- ・担任5人…教室の貸し出し、掃除
- ・音楽の先生1人…日頃はなかなか貸してくれないがOK、音響調整してくれた
- ・養護の先生2人…アルコール・ハンドソープなどの貸し出し、OK
- ・用務員さん2人…後日、ゴミの処理（ゴミ袋の数を減らすため満杯にする作業）
- ・警備員さん1人…80才。土曜の学童出勤だったが参加者の誘導もしてくれた
- ・準備手強い1人…2015年の全国大会でも当日学校にいてくれた先生が今回も
- ・管理職2人…“ゆるく”OKを出してくれた
なんだかんだで30人いる職員も、半数の14人が協力してくれました。お礼と、今後も学校を会場として使いたい狙いもあり、大会翌日にはお一人お一人に

“ちょっといいお菓子”とご挨拶いききました。みなさん一言あと「全然よ～また言うてね」と言ってくれました。

●前日準備は必要だと思いました。今回、当日の朝がコロナ&ZOOM対応わかれたことありますが、前日に一人で4時間準備しましたが、当日バタバタした。

<渉外>～教育委員会の後援～

今回、大阪府十豊能地区（豊中市・池田市・箕面市・豊能町・能勢町）すに「後援名義」申請を行いました。“結構どこでもOKをもらえる”と言っていた。ただコロナ禍で教育委員会もバタバタしているのか、なかなか連絡できないこともありましたが、厳しい審査は感じられませんでした。延期申請電話で問い合わせると「再度書類を送ってもらえると助かります」というので、コロナ対策も大阪府から簡単な指定用紙に記入を求められたのみで、ちなみに箕面市は一度電話はつながりましたが、メールや郵送で申請を3回も返事がなく、後援には入っていません。

研究

まず、このコロナ禍で100名をこす参加者があったことは、ある意味同志会大阪支部の研究成果と言えるのではないかと。さらに今年度は、研修スタイルを1分科会1日制にしたことで、参加しやすくなったことが大きいと思われる。研修を積みたいのであるが、2日の通し参加となるとどうしても二の足を踏んでしまう。そこで、1日完結型にしたことが、今の教師たちにフィットしたと思われる。これについては異論もあるであろうが「支部大会の一番大きな目標は何か？」研究を深めることなのか、研究を広げることなのか、もちろんどちらも必要ではあるが、重きを置く方向については、しっかりと持っておくことが常用であると思われる。また2日参加のメンバーで報告を行った者も、ちがう分科会に1日は参加できるというのも大きなメリットであった。ある意味どの分科会も「風通し」がよくなったのではないかと。